

「東北桜ライン 311 ツアー」(2泊3日)の体験旅行ご報告

私たち「歩こう会」は東日本大震災の復興に何らかの支援をしたい、との思いで考えていたところ、津波到達地点に桜を植樹する活動をしているプロジェクトがあることを知り、その考え方に感動、現地に赴き、見て・聞いて体験し、今後に役立てたいとの思いで、ツアー参加者を募集、参加できなかった方からも、多くのご寄付を頂き、有志 32 名と行ってまいりました。



第一日目 南三陸では津波被害で被災した行政の建物、生々しく「防災対策庁舎」の鉄骨が、未曾有の津波の高さ(19m)で避難を最後まで呼びかけていた 40 数名、わずか生存者 8 名で、多くの方が命を落とされました。



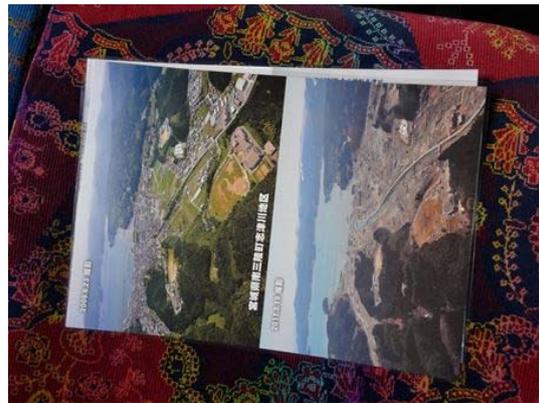
避難すべく「防災対策庁舎」の名盤その前には今でも多くの花がおかれていました。

語り部の案内で、大津波でさらわれ、ガレキ処理が概ね終わった元町を、想像もつかない高さ(電柱の約 2 倍)の大津波であったのを見て・聞いて体験してきました。

教訓として

- ① 避難する勇気(出来るだけ高い所へ)
- ② 生きるんだという信念
- ③ あきらめない

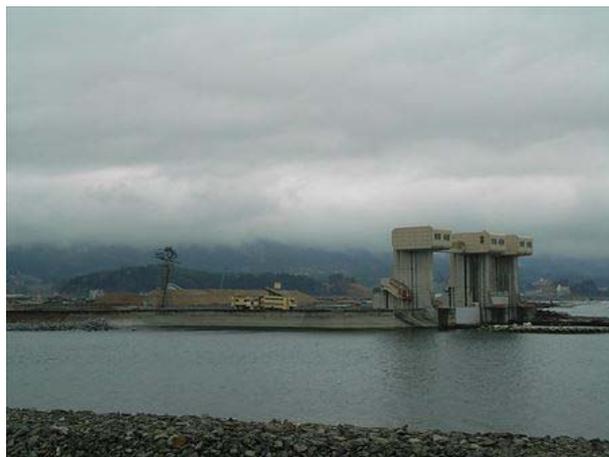
が大切であると熱く語る、全て流された語り部の佐藤さん。



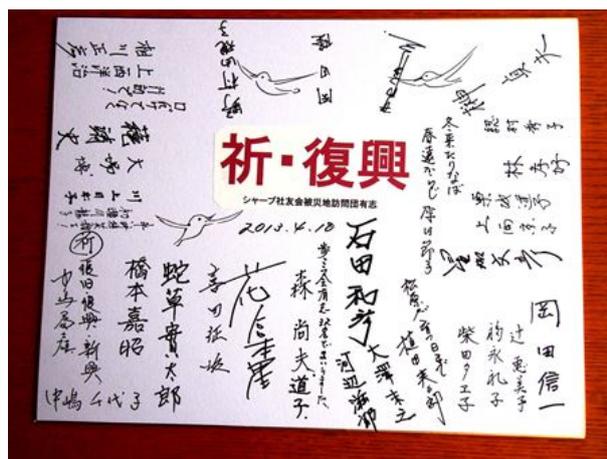
第二日目 今回のツアーの目的、陸前高田へ、途中の景色はTVでもよくみる索漠とした景色、気仙沼では道路に打ち上げられた遠洋マグロ船（800トン？）、山のように積み重ねられた分別されたガレキ、津波でさらわれた街中風景、道路の高所に設けられている津波到達地点の標識、塩害で作付け出来ない田圃、まだまだ復興には、時間と労力がかかる風景です。



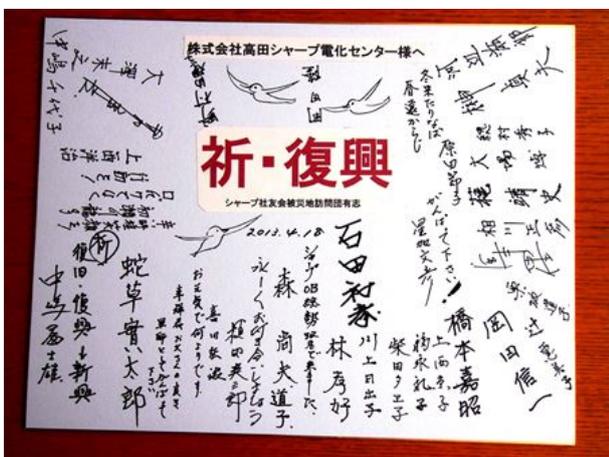
ちょっとした峠を越え陸前高田市中心街へ、驚きました、昔見た浜辺には大変景色のよい松林、何とそこには唯「一本松」今後シンボルとして残すため修復中でした。



中心部は完全に大津波で壊滅、そんな風景の中今回の目的であります、東日本大震災を後世に伝える「桜ライン311」プロジェクトに、皆様方にもお願いしました協賛金を贈呈する為、高台に建つお寺（浄土寺）で、プロジェクトの代表橋詰琢見さんに桜苗木 27 本分 ¥135,000 円を寄贈しました。（御礼文は最終頁です）。



陸前高田にはシャープの専売店として以前から大変頑張っています、高田シャープ電化センター(戸羽社長)があります、参加者の一人からは是非ツアー参加者全員の色紙に寄せ書きを贈呈しては、との発案があり当日浄土寺にお出かけ願ひ色紙を手渡しました。大変感激いただきました。



何か少し良いことをした満足感に浸りながら、災害地を一時離れ中尊寺へ今回のツアーの無事と一日も早い復興を願ひ仙台へ。



2 泊目の夜は社友会東北支部との交流を深める夕食会を開催、中野支部長、小河副支部長始め歩こう会代表含め 21 名のご参加をいただき、なごやかな雰囲気です。最後に 53 名全員で「花は咲く」を合唱、無事全行程終えることができました。



終わりに

昔陸前高田には先人達が津波の被害にあわれ、その時の教訓として。これより下に住むな上に建てよと言う標柱のようなものがあつたが風化されていました

今回の桜ラインは 10 年後か 100 年、1000 年後に大津波を後世に伝えるためにここから上に避難するラインを構築、普段は観桜として人々を癒す役割を果たしてくれる、こんなプロジェクトを応援しています。



歩こう会の皆様、ツアーに参加いただいた皆様、ご協力有難うございました。

「桜ライン 311」プロジェクト
実行責任者 森 尚夫



2013年 4月 18日

シャープ社友会 歩こう会様

桜ライン311プロジェクトへのご賛同に対する御礼

拝啓

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度は、桜ライン311プロジェクトへのあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございます。
でございます。

お振込みいただいた協賛金の135,000円を、確かに受け取りました。本当にありがとうございます。
このようなお心遣いを賜り、事務局一同、感謝致しております。
皆様に頂いたご寄付は桜ライン311の活動趣旨である「東日本大震災の津波到達点に桜の植樹
を行い、後世に震災の記憶と訓戒を伝えていくこと」に大切に活用させていただきます。

なお、現在の植樹作業などのご報告に関しては、当ホームページで随時報告致します。
またマピオン様よりご提供頂きまして、今までの植樹データをマップ上に表示していますので、是非一度ご覧頂ければと思います。

最後になってしまいましたが、ゴールとしている約17000本までの長い道のりの中で、ご縁
頂いた事に感謝しております。この桜ライン311が皆様と陸前高田市との架け橋になれるよう、
引き続き活動していきますので宜しくお願い致します。
春爛漫のこの頃、健やかなる日々をお過ごしください。

敬具



特定非営利活動法人 桜ライン311
〒029-2205 陸前高田市高田町大隅93-1 9号
TEL 0192-47-3399
E-mail info@sakuraline311.org
HP : <http://www.sakura-line311.org>

※ 桜ライン311PJTでは、支援者の皆様の個人情報を 第三者にはご本人様の許可なく提供・開示はいたしません。
取得させていただいた個人情報は適切に管理いたします。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。